

表14は、食事のしたく、片づけなどの食生活に関する仕事をする・しないの程度と、その理由のクロスであるが、よくする理由として上位にあげられたのは、

- 1位 家族がよろこぶ 29%
- 2位 自分のためになる 25.2%
- 3位 自分のことは自分で 16.9%

であった。

ときどきする理由としては、

- 1位 いいつけられる 27.8%
- 2位 家族がよろこぶ 22.6%
- 3位 自分のことは自分で 11.3%
- 自分のためになる 11.3%

の順になっている。

しない理由としては、

- 1位 家族がしてしまう 34.4%
- 2位 したくないから 21.9%
- 3位 男・女だから 16.9%

があげられている。

4) 住生活について

表15：掃除、整とんなどの仕事をする・しないの程度

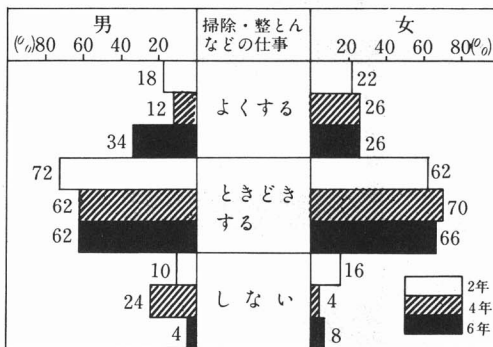
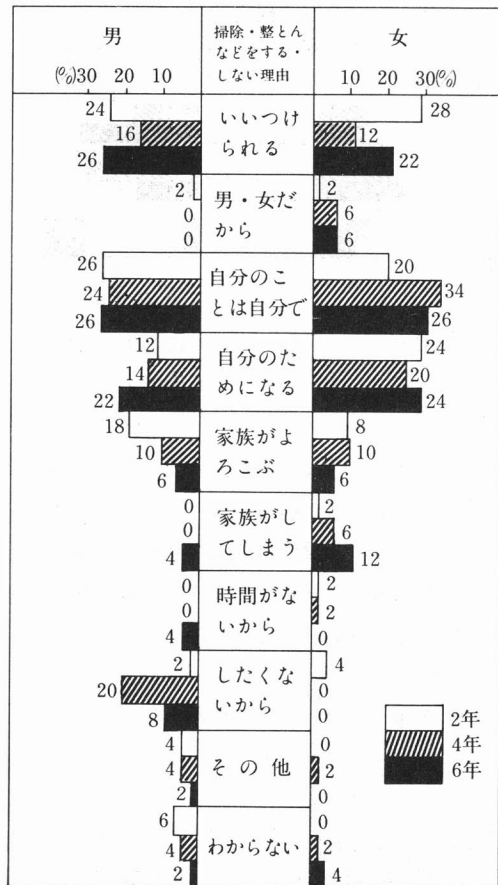


表15で見られるように、掃除・整とんなどの仕事を「する」児童は、全学年を通して88.7%と多くなっている。

性差では、「する」が男子で86.6%、女子では90.7%であり、男女とも大差はない。

6年で「しない」と回答した児童は、男女ともに非常に少なくなっている。

表16：掃除、整とんなどの仕事をする・しない理由



掃除、整とんなど住生活に関する仕事をする理由として、全体では1位が「自分のことは自分で」26%、次いで「いいつけられる」21.4%となっており、3位は「自分のためになる」19.3%であった。

学年別では、する理由として上位を占めたのは、2年では「いいつけられる」26%、「自分のことは自分で」23%、「自分のためになる」18%の順である。

4年・6年では、「自分のことは自分で」27.5%、「自分のためになる」20%、「いいつけられる」19%となっている。

全体として、したくない理由では、「したくない」5.7%、「家族がしてしまう」4%であった。